

## レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	進行・再発胃癌(1次治療)
レジメン	胃SP療法(5週間)

申請・改訂日	2008年7月
備考	1st line

クール関連	
通常6コースまで	

使用した臨床データ	
がん化学療法レジメンハンドブック	

全クール																					
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day8	day9	day10	...	...	...	...	...	...	...	day35		
メイン①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分				○												
メイン②		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分				○												
		アプレピタント		内服	シスプラチン投与1時間前	点滴も可			125mg	朝80mg	朝80mg										
側①		デキサメタゾン注	9.9mg	側管	30分	①と同時に開始			○												
側①		パロノセトロン注	0.75mg						○												
側①		生理食塩液	100mL						○												
側②	○	シスプラチン	60mg/m <sup>2</sup>	側管	120分	total500mL			○	シスプラチン投与後数日間は飲水励行。補液追加も検討を。											
		生理食塩液	500mL																		
メイン③		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	240分				○												
メイン④		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	240分				○												
	○	S-1	40mg/m <sup>2</sup> /回	内服	1日2回朝夕		day1-21後休薬(3投2休)														
					体表面積1.5m <sup>2</sup> 以上:120mg/day																
					体表面積1.25~1.5m <sup>2</sup> :100mg/day																
					体表面積1.0m <sup>2</sup> 以下:80mg/day																

投与量	シスプラチン	S-1(※用法用量外)		
		1.25m <sup>2</sup> 未満	1.25-1.5m <sup>2</sup>	1.5m <sup>2</sup> 以上
通常量	60mg/m <sup>2</sup>	40mg/回	50mg/回	60mg/回
1段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	休薬	40mg/回	50mg/回
2段階減量	40mg/m <sup>2</sup>	休薬	休薬	40mg/回

## 減量・中止基準

両薬剤		
副作用	程度	対処
非血液毒性	G4以上	休薬、回復後別表の通り減量
白血球数	2000/mm <sup>3</sup> 未満	休薬、回復後別表の通り減量
好中球数	1000/mm <sup>3</sup> 未満	休薬、回復後別表の通り減量
血小板数	50000/mm <sup>3</sup> 未満	休薬、回復後別表の通り減量
FN	発現時	休薬、回復後別表の通り減量
肝機能障害	G2以上	休薬、回復後別表の通り減量
腎障害	Ccr60～80mL/min	シスプラチン通常量、S1 1段階減量
	Ccr30～60mL/min	シスプラチン50%減量、S-1 1段階以上の減量(30-40mL/minでは2段階減量)
	Ccr30以下	シスプラチン中止